○その他

区分	■ 新　規　　□ 再提案　（・　・　第　　回総会；　　市）		
種類	□ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの □ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの □ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの※注 ■ その他（　　）	分野	□ 総務文教 □ 社会環境 ■ 経済 □ 建設
要望先	□ 国	担当省庁	
	■ 県	担当部局	農政部
	□ その他	名　　称	

件名	21　長野県の米生産数量配分について
提案市	伊那市
提案要旨	米の市町村別生産数量目標について、生産現場での取り組みを引き続き継続できる公平感あるルールとの説明ができるよう、平成２６年度に予定されている算定ルールの見直しにあたっては、生産現場の声を広く聴取するなど、十分な配慮・検討方お願いする。
提案理由	長野県内の２０１４年産米の広域圏別（市町村別）生産数量目標は、厳しい内容となっており、特に県平均3.8%をこえる生産現場においては、米政策の見直し等とあわせて、不公平との声が聞かれた。 県内の生産数量配分について、新ルールの策定にあたっては、稲作農家が将来にわたり安心して持続的な水田農業が継続できるようなルールとなるよう、早い段階で、生産現場、市町村、生産者団体等関係者の意見を十分聞いて、公平感があると生産現場が納得できる新ルールの決定プロセスとなるよう配慮することが必要なため。
現況及び課題等	過去２年間、生産数量目標が増となっており、特に問題なかったが、２０１４年産米の減少率は高く、米政策の見直しとあわせて、県平均を上回る地域においては、不公平との声があった。 上伊那地域も同様の声が多く、長野県再生協議会上伊那地方部を通じて長野県農業再生協会へ、稲作農家が将来にわたり安心して持続的な水田農業が継続できる新算定ルールの策定を要請した。 過去の減少率の比較（広域圏別） 県平均の増減率　広域圏別減少率 2014年(H26)産米　-3.8%　-2.6%～-5.2% 2013年(H25)産米　+0.4%　+0.3%～+0.5% 2012年(H24)産米　+0.7%　+0.6%～+0.7%
関係法令	